

東南アジアへ伸びる県物産

★話し手

岡山 忠生

(熊本商工会議所
貿易委員長)

寺本 広作

(熊本県知事)

☆きき手

熊本放送アナ



熊本県物産バンク見本市が、さる九月末の五日間、タイのバンコクで開かれた。ことしは特に寺本知事自ら東南アジア経済視察団長（一行三十人）として参加。その後、香港、シンガポール、ジャカルタ、台北、沖縄などを視察して十月十一日に帰国した。

急速に高まりつつある経済開発ムードの中で、東南アジアの日本に対する開発技術・物産貿易への期待も強いといわれているが、このたびの視察団の現地を見たこと、感じたことはどうか。

熊本の優秀な物産を東南アジアの各国へ輸出しようという見本市が九月二十九日から十月三日までタイのバンコクで開かれた。会場はバンコクのジャバントレードセンターでしたが、出品された製品は、事務用品から、コンクリートブロックマシン、シャッププレス機、それにアルミ製品、薬品などいろいろとりどりでしたが、中でもプラネタリウムなどは注目を集めたということです。見本市の一行は、その後、東南アジアの各国を視察して、さる十月十一日に熊本に帰りました。

そこで、きょうは熊本商工会議所貿易委員長の岡山忠生さんと、寺本熊本県知事にこの見本市の話題をいろいろお聞きすることにしました。

知事 華商の人達がぜひ現地に出てくれと申しましたが、現地に出て行くことになりまして、相当実績ももっている人、そういう人に奮発したかねばならないと思います。

岡山 タイ国の政府に皆でまいるましたね。あの時、貿易庁の局長ですか、あの人がもうすぐ買ってくれるという話でした。

知事 非常な仏教信者でね。私ども、熊本はお国の開発に役立つものを出しているのだからぜひ買ってこれといったら、向こうで非常な片貿易になって弱っているのだと、熊本のはタイ国の開発に役立つものであるけれども自分の方の外貨の枠が非常に苦しいから、ぜひ一つ、熊本もタイ国のものを買ってこれといえました。

そこで私どもは三角・八代が木材港になっていますが、タイ国は木材の産地だから木材を買おうというにしたのです。それから熊本は日本の畜産基地といわれるところだから、大いに草だけではいかん、濃厚飼料がいるからあなたのところのとうもろこしを買いたいというところをしたら、「アメリカのとうもろこしとタイのとうもろこしはどちらがいいか」と逆に聞かれました。その場では答えることができませんが、物の善し悪しばかりでもなく、輸送コストの問題もある。タイ国は近いですがからね。そういう問題もあるから帰って調べてから連絡しようということをお願いしました。

とうもろこしを入れてるのは農業団体の全購連ですね。帰って聞いてみますと、この一、二年タイ国のとうもろこし

事も是非行くようにいわれましたので、皆さんと一緒させていただいたわけです。各地で県内のメーカーの取り引き先、商社、ゼトロ、大使館、現地の政府などに挨拶まわりをしたわけです。今後の皆さんの取り引きのお役にたてばありがたいと思います。

信頼あつい熊本の県産品

岡山 知事さん自からということが非常に現地の人たちの信用を良くしていると先ほどから申し上げておりますけれども、バンコクを一緒に回って感じたことは、やはりタイ国自体の経済状況が低調だということにかかわらず、熊本県産品は非常に有望だということにわれわれも心強く思ったわけです。この点、知事さんどうですか。

知事 そうでございますね。私の方から出ているのはタイ国の経済開発に役立つもの、国民生活の必需品というふうなものばかりですから、向こうの外貨の枠からいって苦しいというところですが、まだまだ伸びる余地があるようにみてきました。

岡山 タイの国からうけた印象としては、農業県であり今後の経済に問題を含んでおると思えますけれども、いことに熊本から持って行った品物が時宜を得て経済状況にあったという印象をうけましたね。

知事 見本市はタイ国のゼトロの事務所で行ったわけです。二階が事務所一階が展示室でした。それで熊本県単独といいますがゼトロの機械展の開催を機会に熊本県とゼトロと両者でやったわけです。それでゼトロの方は両脇と中

うような印象をうけましたね。人種問題、宗教問題、今後の工業化の問題と、なみなみならぬ問題をかかえて皆やっ気になって印象をうけましたね。

知事 いまのお話のように、マレーシアであればマレーシア人と中国人、シンガポールでもシンガポールと中国人、沢山の人種がはいっているし、そこへいくと教育度は高いし、単一民族で勤勉な日本人だけの日本は大変ありがたい国であるし、工業開発をやるにも非常にやりやすい国だと思ってみてきました。

岡山 本間に生活必需品の、生産的なものをわれわれが向こうに出してやるという気分を持たないとうもろこしだけいいからという気持ではいいかなという気がいたします。

知事 しみじみという感じを持ちますね。やはり、日本の援助、開発を待っている国だと思えます。

岡山 援助してやる義務というわけではなくて、援助をして一緒にうかび上がっていくということをお互い考えねばならないし、熊本県としてもいま出している製品がほとんど出していくような状況に持っていかなければならないと思えます。

知事 やはり現地のことは、現地の人との交流、その他貿易が伸びるのには、いろいろそういう条件を整理していく必要があるということを感じます。

岡山 どうもお忙しいところをありがとうございます。

(RKK放送「県民のひろば」から再録)

央を使っている、正面と奥のコマを熊本県に割合いてくれまして、熊本県の品物が目立つ場所に並べてくださいました。見本市の期間は五日間でしたけれどもこれこれ二千人以上は入りまして、それに引き合いが二百件余もあったといいますが、現地にその後残って商談をまとめていらっしゃる方もございますし、相当実を結ぶだろうと思っております。

岡山 製品についてみましても、非常に古い取り引きから固定して、今後登り坂にきている商品、今後伸びるだろうと思われる商品と、今後相当努力しなければならぬ商品とそれぞれについてみたのですが、幸い熊本県の特産業者などは政府の指定のような、強い基盤をつくっているというふうで熊本県の者でもこういう力があるのかと強い印象をうけました。

順調に進んだ相互取引

知事 やはり東南アジアではバンコクが交差点にあたるような場所です。人の行き来が非常に多いですから、あそこで見本市をやるといっては、タイ国ばかりでなく東南アジア・その他世界各地に貿易のルートができるきっかけになると思えます。

岡山 知事さんと華商連合に行きましたのですが、華商の人たちの経済の考え方など、やはり経済的な実権を握っているだけ、機械類もほとんど入っておりまして、熊本市では残念ながらま